

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ひだまり

作成日: 令和 3 年 10 月 6 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	就業環境の整備	ホームの理念に基づき、職員一人ひとりの目標を設定して掲示しているが、振り返りや評価までには行っていない為、各自が向上心が持って働けるような機会を設けていく。	定期的に、管理者との個別の面談の中で目標達成に対する振り返りを行い、職員の努力を認め評価していくことで、やる気とスキルアップに繋げていく。	12ヶ月
2	16	災害対策	年2回、併設事業所と合同で訓練を行っているが、ホームが2階建てで夜勤帯は職員が2名になることから、夜間想定ホーム独自の訓練を頻繁に行い、夜勤者の自信に繋げていく。	夜間帯で2名の夜勤者の動き、併設事業所との連携や近くに住む職員、地域住民の応援体制等、具体的に見直すことと、ホーム独自の夜間想定訓練を繰り返し行うことで、利用者を安全に避難誘導できる体制を築いていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。